

臨床美術^で

(クリニカルアート)


メンタルヘルスケア

ストレスを感じている人へ、
絵が苦手でも大丈夫!!

独自のアートプログラムにそって絵を描き、創作活動によって脳を活性化し、その人の意欲と潜在能力を引きだしていきます。
社会人向けのメンタルヘルスケア、認知症の予防・症状改善、発達が気になる子どもへのケアなど多方面で取り入れられています。



- ◆日 時 平成29年 3月10日(金)
午後7時~8時30分
- ◆会 場 アクロス 4階 メディア研修室
- ◆講 師 よねだ えいこ 米田 瑠子さん (臨床美術会 in Osaka)
- ◆定 員 先着18人(要予約)
- ◆対 象 どなたでも
- ◆費 用 1,500円(材料費込)
- ◆申 込 2月10日(金)から
来館・電話での受付

お申し込み お問い合わせ 大東市立生涯学習センター **アクロス** 

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サンタワー内 ※JR 住道駅南側高層マンション内
TEL : 072-869-6505 FAX : 072-870-1405 E-mail : info@daito-across.jp
HP : 「大東 アクロス」で検索 開館時間 午前9時~午後10時 休館日 : 第二木曜日
お願い : 当センターの駐輪場は狭いのでなるべく公共交通機関や徒歩でお越しください。

講師プロフィール /

米田 瑛子さん

ヨネダ エイコ



- ・大阪府立大学大学院博士課程満期
- ・臨床美術士・芸術療法士・学芸員・
ソーシャルワーカー
AS(自閉症スペクトラム)サポーター
- ・日本臨床美術協会認定団体
「臨床美術会 in Osaka」主宰
- ・日本パステルホープアート協会認定
大阪養成校「PastelArtClub なごみ」主宰

独自のアートプログラム例 [りんごの量感画]

たとえば見た目ではなく、りんごを握く前に、まずはじっくり触る。香りをかぐ、切って食べる。りんごの生い立ちを想像する。形や色などの「視覚」だけで描き始めるのではなく「五感」を総動員して描いていきます。自分は絵がヘタと想っている人が、夢中で手を動かしたくなるような、そんな自由で楽しいプログラムをたくさんご用意しております。



臨床美術は、絵の上手下手は関係ありません。感じた物を感じたままに表現すること「直感」。直感は右脳の働きです。臨床美術のベースには、この右脳を刺激しようという考えがあります。右脳を刺激することで前頭前野が活性化されると、前頭前野の「意欲中枢」が働き、前向きになります。ストレスを感じる現代社会において、老若男女みんなが意欲的で楽しい毎日を過ごしていただくためにも、臨床美術を日々の生活に取り入れて頂ければ、幸いです。



[参考例 りんごの量感画]

大東市立生涯学習センター アクロス

〒574-0036
 大阪府大東市末広町 1-301
 ローレルスクエア住道サンタワー内
 ※JR 住道駅南側高層マンション内
 TEL 072-869-6505
 FAX 072-870-1405
 E-mail info@daito-across.jp
 HP 「大東 アクロス」で検索



最寄り駅(JR住道駅)からのアクセス方法 3F受付に直結

- 1 JR学研都市線「住道駅」で下車。
- 2 ALBI側改札口を出て、書店奥(西)通路に出る。
- 3 通路左(南)のガラスのドアを出て、連絡橋を渡るとアクロスがあります。

